

～施設での取り組み～

KYT「危険予知トレーニング」

K「危険」
Y「予知」
T「トレーニング」

危険予知トレーニング(KYT)とは・・・

元々産業界で使われていた言葉であり、作業の中に潜む危険について話し合い、予知と対策をおこなう訓練を指します。医療界では1999年に起きた医療事故を機に医療安全の普及が重要視され、患者安全を阻害する要因に対して有効な防止策になるとして導入されました。カルガモの家では、全部署の職員対象に毎月第1・3週土曜日にKYTを実施しています。

【実践中の様子】

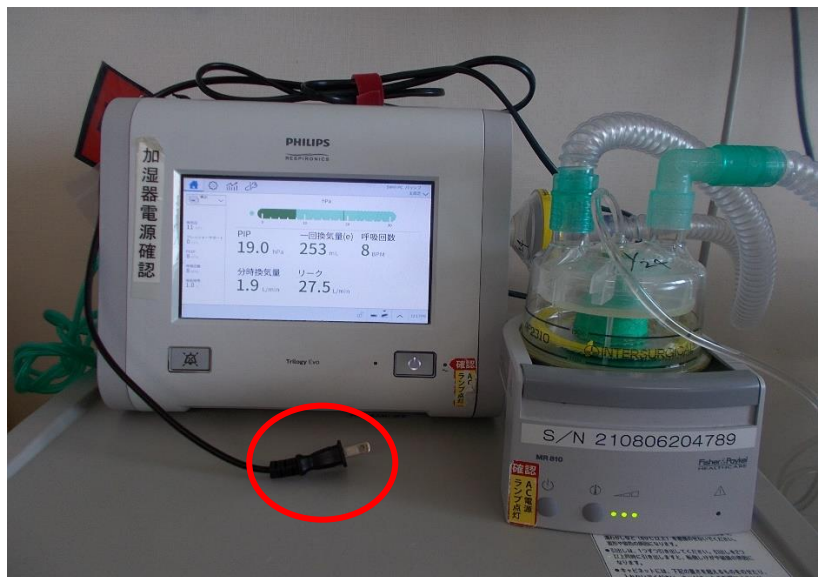


写真内に潜んでいる危険について、スタッフ間で話し合い、対策を導きます。

【KYT チャレンジ】

右の写真で危ないと思われる箇所を探し、どんな危険が潜んでいるか考えてみましょう。

正解:呼吸器のコンセント差し込み忘れにて充電されず換気がされない可能性がある



『利用者様の安全』
をモットーに活動
しています。



「利用者様相談窓口」について
施設では「利用者様相談窓口」を設置しています。
お問い合わせは以下の時間帯にお願い致します。
相談窓口:平日9～17時(土日祝含めない)
電話番号:049-229-5811(事務室)